

【1日目】2026年6月6日(土)

第1会場(高知県立県民文化ホール 1F グリーンホール)

11:00～ 受付開始

11:45～12:45 ランチョンセミナー1

共催：アルケア株式会社

「成果の上がるポジショニング ～隙間を埋めるから支えるへ、属人化から標準化へ」

座長：下元 佳子(一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事)

「スキルだけではもう限界」

一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子

「ポジショニングの標準化とその先へ ～プロップス・クッションとツールの活用」

医療法人溪仁会 札幌西円山病院 看護介護部 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 土屋 隼人

12:55～13:00 開会の挨拶

13:00～13:20 理事長講演

座長：中川 宏治(日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 全国会長／医療法人大和会 福田心臓・消化器内科)

「『じょくそうケアナビ』を使おう」

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会理事長／高岡駅南クリニック院長 塚田 邦夫

13:20～13:40 全国会長講演

座長：塚田 邦夫(日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 理事長／高岡駅南クリニック 院長)

「安心できる暮らしのために ～地域での暮らしからみえるもの～」

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 全国会長／医療法人大和会 福田心臓・消化器内科 中川 宏治

13:50～14:30 教育講演1

座長：片岡ひとみ(山形大学医学部看護学科)

「地域・病院・多職種協働で取り組む入退院支援」

公益社団法人高知県看護協会／高知県立大学看護学部 森下 安子

14：40～15：20 ハンズオンセミナー

共催：シーマン株式会社

「安心できる暮らしを支えるポジショニング」

江別市議会議員／看護師	芳賀 理己
一般財団法人 北海道難病連 作業療法士	播磨 孝司
札幌さがクリニック 看護師	富田 理恵
新札幌ひばりが丘訪問看護ステーション 看護師	山川 美雪
医療法人溪仁会 札幌西円山病院皮膚排泄ケア認定看護師	土屋 隼人

第2会場（高知県立県民文化ホール 4F 第6多目的室）

15：30～16：00 スイーツセミナー

「スイーツセミナーなのに…おつまみばかり??」

福島学院大学 食物栄養学科 准教授	田村佳奈美
栗山赤十字病院 医療技術部 栄養課 栄養課長	眞井 睦子

第1会場（高知県立県民文化ホール 1F グリーンホール）

16：10～17：10 フットケアセミナー

座長：栗原 健（くりはら皮フ形成外科）

「足から支える暮らしと健康 ～見て学ぶ・みんなで実践するやさしいフットケアセミナー～」

伊那中央病院 フットケア・足病センター 山口 梨沙

17：20～17：50 総会

18：30～ 情報交換会（高知会館）

【2日目】2026年6月6日（土）

第1会場（高知県立県民文化ホール 1F グリーンホール）

9：00～10：00 委員会コラボ企画セッション

「在宅におけるサステイナブルな褥瘡予防プログラムの実装」

座長：岡田 克之（医療法人大誠会内田病院）

須釜 淳子（藤田医科大学 社会実装看護創成研究センター）

「ケアマネジャーとの共創による褥瘡予防の実装科学」

藤田医科大学 保健衛生学部看護学科 光田 益士

「床ずれ予防プログラムの実装に向けて、ケアマネジャーと協働した取り組み」

金沢大学医薬保健研究域保健学系 北川 麻衣

「床ずれ予防プログラムのめざすこと」

医療法人大誠会内田病院 岡田 克之

10：10～11：00 特別講演1

座長：石井 義輝（医療法人真鶴会 小倉第一病院）

「ポストパンデミックの地域医療を考える 培われた地域連携の展開」

沖縄県立中部病院 地域診療科 高山 義浩

11：10～12：00 特別講演2

座長：熊谷 英子（在宅WOCセンター センター長 仙台エコー医療療育センター）

「災害医療の変遷 医療から保健医療福祉活動へ」

高知大学医学部危機管理医療学講座 西山 謹吾

12：15～13：15 ランチョンセミナー2

共催：株式会社モリトー

「在宅でもできるんですよ！ ～狭い家こそノーリフティング～」

高知の在宅ケアを守る会 福島 寿道

一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク 安武 哲宏

ポスター会場（高知県立県民文化ホール 4F 第11多目的室）

13：20～13：40 ポスター発表（質疑応答）

- P-1「大きい、深い、多発した褥瘡も大丈夫 在宅での局所陰圧閉鎖療法を用いた褥瘡管理」
信愛会 交野病院 村上 啓司
- P-2「褥瘡患者における在宅療養の意義 ―回復期リハビリテーション病棟・医療療養病棟との比較―」
ヴォーリス記念病院 褥瘡・慢性創傷センター 北野 晴久
- P-3「多層構造シリコンフォーム保護パッドを用いた重層貼付による尾骨部褥瘡への効果」
徳島赤十字病院 土内 文恵
- P-4「新卒・新任訪問看護師育成プログラムにおける褥瘡関連科目の自己評価による比較分析」
高知県立大学看護学部／地域共生学研究機構 井上加奈子
- P-5「訪問看護・リハビリ介入によりADL低下を受容し回復を目指す褥瘡保有症例の報告」
地域ケアステーション八千代・訪問看護ステーション 高井まゆみ
- P-6「在宅で一貫した褥瘡ケアを継続するために看多機が果たす役割について」
在宅看護センターびりーぶ 馬場 美雪
- P-7「50年来の難治性褥瘡を抱えながら、感染による入院を防ぎ在宅生活が継続できた要因」
在宅看護センターびりーぶ 平尾 香枝
- P-8「歩行を止めない踵部創傷ケア ―外力に着目した多職種連携の在宅症例―」
おうちの診療所 田村 留美
- P-9「自宅で出来た深い褥瘡を病院WOCナースと施設が連携し治癒した1例」
江別訪問診療所 かかりつけ訪問看護ちいきの森 三宅 由佳
- P-10「在宅難治性下肢潰瘍に対するWOCN介入の意義：包括的アセスメントに基づく処置の標準化と薬剤選択の一例」
逢縁訪問看護ステーション 田村 綾
- P-11「継続調査からみた高知県における在宅褥瘡患者の特徴」
高知学園短期大学看護学科 小原 弘子

第2会場（高知県立県民文化ホール 4F 第6多目的室）

13：30～14：00 ヨガ・ピラティス体験

- 「ヨガ・ピラティス要素を用いたボディメカニクス介入が在宅ケア従事者の身体負担に与える影響 ― 実践的アプローチ ―」
naturally 代表 南方 和美

第1会場（高知県立県民文化ホール 1F グリーンホール）

14：10～14：50 教育講演2

座長：片岡 薫（高知医療センター）

「高齢者が安心して過ごすための褥瘡ケア：体圧分散管理～寝具の選び方～」

人間環境大学松山看護学部 杉本はるみ

15：00～16：15 シンポジウム

「あたりまえの暮らしを支えるためのチーム作り～褥瘡・熱傷の老々介護の在宅をチームで支える経験～」

シンポジスト

司会進行：荒川 泰士（高知県ホームヘルパー連絡協議会会長）
主治医：中川 宏治（福田心臓・消化器内科／みなみ在宅クリニック）
ケアマネジャー：土居 光世（居宅介護支援事業所うらら）
訪問看護：岩崎 薫・山崎美喜子（訪問看護ステーションおたすけまん）
訪問介護：福島 寿道（ホームヘルプステーションサステナ）
通所介護：福重 陽気（ウエルデイしなね）
訪問リハ：西川まり子（訪問看護ステーションおたすけまん）

16：15～16：25 次年度のご案内

16：25～16：30 閉会式
